

新年のごあいさつ



蒲郡市社会福祉協議会
新会長 大場 進

この度、石川会長のあとを受け、社会福祉協議会会長の重責を継ぐことになりました。

もとより浅学菲才、加えて老齢。身も心も思うに任せぬ私にとりまして、当に薄氷を踏む思いであります。会の進展を妨げぬよう努力致す所存であります。

蒲郡市社会福祉協議会は、歴代名会長のご指導と役職員の献身的な奉仕活動、会員市民の皆さんの暖かいご協力ならびに市の支援によって、財政的基盤も確保され、その活動も各部門それぞれの役員、ボランティアの方々の活躍によって、福祉各般にわた

り立派なものであると承知しております。

しかしながら、社会福祉は模索期・発展期を経て、今や見直し期に入ったといわれ、その活動はいよいよ広く深くなくてはならず、特に本年四月からは介護保険も始まり、社会福祉協議会の力量が問われる時代となりました。

社会福祉は、「社会的弱者」だけのものではなく、全市民がそれぞれ自分のことと捉えて生活をしなければならぬと言われます。行政の及ばない福祉面を分担する本会の責務は、いよいよ重大になるものと思われま

す。そのために、蒲郡市民憲章を信条とし、暖かい人情の漂う町、仲よく助け合い、支え合う町づくりを目指して、老骨に鞭打ってまいりたいと、強く自分に言い聞かせております。

市民の皆様方の、格別のご支援ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げまして、就任のご挨拶といたします。

退任のごあいさつ



蒲郡市社会福祉協議会
旧会長 石川 精一

明けましておめでとうございます。

新しい年は皆さん方にとって、どうぞ良い年であります様お祈り致します。

さて私は去る11月30日付で昭和63年からお預りしていた社会福祉協議会会長の任を解いて頂きました。

顧みますと不敏菲才の私が11年の長きにわたって大きな過ちもなく、この大任を勤めることが出来たのは偏に、市当局のご指導、福祉関係団体役員各位の格別のご支援、市民の暖かいご協力、役職員・ボランティアの皆さんの献身的な活動のお陰であったと、しみじみ感激するばかりであります。

有り難うございました。

ここに謹んでお礼申し上げて退任の挨拶と致します。

社協役員新体制

昭和63年11月20日から11年余にわたり会長を勤められた石川精一氏が退任され、12月1日から新会長に大場進氏が就任されました。役員のみなさんは次のとおりです。(敬省略)

▽会 長	大 場 進	▽理 事	小 田 初 弘
▽副 会 長	大 竹 和 子		竹 内 芳 子
	和 泉 邦 生		廣 濱 保 子
	榊 原 亘		青 山 傳 重 郎
▽常務理事	田 島 勅		市 川 礎
▽理 事	内 山 剛 久		栗 田 一 衛
	近 藤 和 義	▽監 事	安 藤 録 郎
	長 瀬 昭		小 川 公 子
	本 多 傳 治 郎		

